

Press Release

報道関係者各位

平成21年7月6日

株式会社ユビテック

(大証HC 6662)

**IPA、「組込みシステムのセキュリティへの取組みガイド」を一般公開
～ユビテックが組込みシステム開発におけるセキュリティ対策の調査・研究に協力～**

ユビキタスプラットフォーム事業の創生を目指す株式会社ユビテック（東京都品川区、代表取締役社長：荻野 司、以下「ユビテック」）は、独立行政法人 情報処理推進機構（東京都文京区、理事長 西垣 浩司、以下IPA）より一般公開された「組込みシステムのセキュリティへの取組みガイド」の策定に協力しました。本調査報告書は、IPAのホームページにて詳細をご覧になることができます。

(http://www.ipa.go.jp/security/fy20/reports/emb_app/index.html)

IPAでは、2006年度から2008年度まで、述べ3カ年に渡る科学技術振興調整費プロジェクト「組込みシステム向け情報セキュリティ技術」に参加し、「組込みシステム向けセキュアなモデリング法に関する研究」を立ち上げました。本プロジェクトは、組込み機器開発会社のセキュリティ部門や開発部門、独立行政法人 産業技術総合研究所、独立行政法人 情報通信研究機構、各大学の研究機関等から集まったトップレベルの専門家で構成されています。ユビテックは多種多様な組込み開発経験を評価され、当社の開発部門の最前線にいるエンジニア「電子機器事業部 第二開発部 主幹 赤羽 千英」が本研究プロジェクトに参画しました。組込みシステム開発特有の課題とコスト・納期等の企業要因のバランスを図ったセキュリティ対策の調査・研究を行い、この度「組込みシステムのセキュリティへの取組みガイド」の策定に協力しました。

本ガイドは、組込みシステムの開発関係者（開発者・開発責任者・意志決定者（経営層））を対象として、開発関係者のセキュリティ意識の向上と、よりセキュアな組込みシステムの実装を促すことを狙いとしています。組込みシステムのセキュリティ対策を100%完璧に対応することは事実上難しく、現状は投資とのバランスで対応内容を決めることが多くなっています。このバランスとセキュリティへの投資レベルをきちんと把握するために、自組織の「セキュリティへの取組み」レベルを把握することが必要となります。そこで本ガイドを参照することで、自組織がどのレベルにあるのかを把握し、さらに上位レベルに向けた取組みの指針を得ることができます。また、フェーズ毎にセキュリティへの取組み方針と、詳細な内容が提示されているため、経営層と現場の双方が組込みシステムに関わる脅威を正しく認識し、「何をすべきか」を具体化することができます。

具体的な項目は、以下の通りです。

1. マネジメント：セキュリティルール、セキュリティ教育、セキュリティ情報の収集
2. 企画：予算
3. 開発：設計、開発プラットフォーム選定、ソフトウェア実装、開発の外部委託における取組み、セキュリティ評価テスト・デバッグ、ユーザーガイド、工場生産管理
4. 運用：セキュリティ上の問題への対応、ユーザへの通知方法と対策方法、脆弱性情報の活用
5. 廃棄：機器廃棄方法の周知

ユビテックでは、本ガイドの中で液晶テレビをはじめとする各種情報家電の組込み機器開発における豊富な経験と技術を駆使し、開発の実情を踏まえながら設計から工場生産管理に至るまで組込み機器開発に関わるセキュリティ対策の調査・報告を行いました。

引き続きユビテックは、当社が持つ様々な技術、ノウハウを製品展開に活用しながら、業界・社会の健全な発展に貢献してまいります。

【本件に関するお問合せ先】

株式会社ユビテック 担当: 管理本部 総務課

電話: 03-5487-5560 FAX: 03-5487-5561

以上